

平成21年度 学校経営の重点(短期目標)

評価領域	重点目標(短期目標)	具体的方策
組織・運営	活力ある学校作りと運営	部長会・各分掌・各会議の情報のより一層の共有化を図る。
		会議の目標を明確にし取組の焦点化と効率化を図る。
	学校の将来像の具体化	柔軟な教育システムに係る実践研究を行う。
		柔軟な教育システムに係る実践研究の成果を、共有し学校の将来像の具体化を図る。
学習指導	質の高い学力の育成	”わかる”こと通して学びの姿勢をつけさせる授業展開を行う。
		家庭学習の定着を図り、自学自習の学習態度を育成する。
		図書館の利用しやすい環境を整え、図書館利用を推進する。
		研究授業・公開授業、中学校との授業交流を実施し、授業改善を図る。
個に応じた指導による学力の向上	授業担当者会議等の開催で、個別指導の基礎情報を共有する。	
	定期考査、実力テスト等の分析を行い、教科指導の改善を図る。	
生活指導	生命・人権を基盤とした正しい判断力と実践力の育成	人権学習だけでなく行事・特別活動等の指導の中で、生命・人権を守る重要性を理解させる。 教職員研修により、教職員の人権教育の力量を高める。
	基本的な生活習慣を確立させ、生涯を通じての自らの心身の健康を適切に管理し、改善する能力を養う。	各学年、各分掌との連携により生徒の課題をふまえた保健学習を充実する。 教育相談会議や学校保健会議等を充実させるとともに、安全を確保する環境整備を行う。
	社会の一員としての自覚を促す指導	研修旅行・校外での行事において、学校以外の人達との対応を学ばせる。
		学園祭を中心とした生徒会行事の発展充実を図る。
進路指導	系統的な進路指導の充実	各学年の進路指導計画の具体的実践と改善。 教職員の進路研修により、最新の進路情報の共有化を図り、一致協力した進路指導を実践する。
	自己発現による進路選択能力の涵養	進路学習、進路説明会等により、最適な進路情報を生徒に提供する。
		資格試験・検定試験等の取得を勧めることを通して、自らのスキルアップ意識をもたせる。
信頼を高める学校作り	開かれた学校作りの推進	地域と学校のつながりをより一層高める。
		中学校との授業研究活動、少中学校生との高校生の交流活動等地域の学校との連携を深める。
		PTAだより、学校だより等の情報の発信を充実させる。
	関係機関との連携やホストファミリーとの綿密な連携を図り、留学生の成長を援助する	
教員の資質向上	研究授業・公開授業、中学校との授業交流を実施し、授業改善を図る。	